

環境衛生課からの お知らせ



吉備庁舎 環境衛生課
清水行政局 建設環境室
52・2111
ごみ分別すれば資源

資源ごみの 持ち去り禁止

ごみ集積所に出された資源ごみを、町が委託している業者が回収する前に持ち去られるケースが多発しています。

回収した資源ごみは、町の貴重な収入源でもあるため、こういった持ち去り行為は、絶対に見逃ごすことができません。

町の条例では、ごみ集積所に出された資源ごみは町に所有権があり、町と町が回収を委託している業者以外の者は資源ごみの回収ができないことになっています。これにより、ごみ集積所から資源ごみを持ち去った場合は、犯罪行為（窃盗罪）になります。

もし、資源ごみを持ち去っている者を見かけた場合は、車両を制止したり、むやみに持ち去り行為者に接することはせず（トラブルや事故につながるため）、「日時」「場所」「資源ごみの種類」「車両の特徴（ナンバー、車

種、色）「行為者（人数、性別、年齢）」など分かる範囲で結構ですので、環境衛生課までご連絡ください。また、よう、ご協力をお願いします。

プラスチックの品質検査 [No.2]

先月号に引き続き、プラスチックの検査（パール検査）のお話です。

パール検査は破袋度（二重袋の有無）、容器包装比率（分別度合）、禁忌品（医療系廃棄物および危険物）の有無の3点で評価されます。それぞれA、B、Dの3段階にランク分けされます。A：優、B：可、D：不可といったイメージです。

平成26年度の有田川町の成績は、破袋度、容器包装比率ともにAと優秀でしたが、禁忌品はDと残念な結果となりました。検査対象のペールの中から紙でくるまれたごく少量のガラス片が出てきたためです。危険物はごく少量の混入があってもD評価となってしまいます。



検査で見つかった「ガラス片」

有田川町では住民の方々の絶え間ない努力によりプラスチックの品質は年々大きく向上してきました。二重袋も一部の地区を除いて徐々に減っていき、そのため破袋度、容器包装比率は他の排出者（市町村など）と比べても誇るべき成績です。

しかし誰かが捨てたごく少量のガラス片が、有田川町の評価を落とすことになってしまいました。D評価が続く、改善が見込めない場合は製鉄所による引き取りが拒否されてしまいます。

今後は次のような危険物を、絶対に入れないように、皆さまのご協力をよろしく願います。

●危険物

ガラス（陶器）片・カミソリ・乾電池・使い捨てライター・スプレー缶など

平成26年度 降雨水質調査結果表 (pH)

採取場所	吉備庁舎		小島公民館		田角第3中継所		保健福祉センター		ふれあい農園		消防本部		平均値	
	pH	降雨量	pH	降雨量	pH	降雨量	pH	降雨量	pH	降雨量	pH	降雨量	pH	降雨量
平成26年 5月13日	5.9	30	5.5	26	6.2	37	6.0	22	5.8	25	5.9	29	5.9	28
平成26年 8月8日	5.7	150	5.7	160	5.4	150	6.1	110	5.5	120	7.2	160	5.9	142
平成26年 10月27日	5.5	40	5.3	32	5.9	26	5.9	22	5.1	24	4.8	26	5.4	28
平成26年 12月24日	5.5	68	5.7	75	5.2	70	6.3	34	6.6	25	5.5	96	5.8	61
平成27年 1月16日	5.3	35	5.4	35	5.3	39	6.0	17	5.8	20	5.3	42	5.5	31
平成27年 3月31日	4.9	112	4.7	141	4.9	114	5.0	91	4.9	104	5.1	103	4.9	111
平均	5.5		5.4		5.5		5.9		5.6		5.6		5.6	

pH・・・水素イオンの指数。0から14までの15段階で表示し、7が中性、数字が小さいほど酸性が強く、数字が大きいくほどアルカリ性になる。
酸性雨・・・石油などの燃焼で出た硫黄酸化物(Sox)や窒素酸化物(NOx)が大気中の酸素と反応し、硫酸・塩酸などの強酸が発生、森林の樹木枯死の原因とされる。